

(仮称) 文化芸術のまちづくり計画策定に係る全体像

<“目指す姿”検討のための言葉の要素>

体験等を重視する社会	文化芸術活動を始めやすい環境	市民が主体的に活動できる土壌	次世代への継承
文化芸術に親しめる環境	子どもへの文化芸術体験	担い手づくり	鑑賞や体験の機会

機会や場をつくって
文化芸術を、
育む／未来につなぐ

文化芸術を育み 笑顔咲くまち

～町田で Let's stART～

～まちだ Smile-ring project (スマイリングプロジェクト)～

Project A “みんなの夢”を叶える
Project B 大型イベントの実現
Project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

基本方針1 きっかけをつくる

施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる
機会の確保

施策2 情報環境の拡充

基本方針2 場をつくる

施策1 施設の整備・活用

施策2 活動の場の充実

基本方針3 未来につなぐ

施策1 文化財の保存・活用

施策2 次世代への継承

基本方針4 共に創る

施策1 市民や団体等のチャレンジの
創出

施策2 企業等との共創による振興

社会状況の変化

- 文化芸術と様々な分野との連携が求められている。
- デジタル技術が進展し、文化芸術がより身近になっている。
- 文化芸術を発信するチャンスが訪れている。
- 体験や特定の時間を重視する社会に移り変わっている。
- テーマ型コミュニティといった新たな社会的つながりが生まれている。

町田市の特徴

- 文化芸術に親しめる環境が揃っている。
- 一人ひとりが輝けるまちづくりを進めている。
- 子どもにやさしいまちづくりを進めている。
- 特徴的な文化芸術関連施設がある。
- 町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっている。

現状、意識調査・アンケート×みなさんの想い

小規模のホールが充実している／全国レベルの演技や演奏が身近にある

文化芸術を鑑賞する人の割合が低い／文化芸術活動団体への新規加入者が少ない／子どもへの文化芸術体験が重要視されている

演劇表現活動に触れる機会を増やして文化芸術の町田に／活動を発表する機会を／若者に芸術文化の鑑賞と体験を／障がい者の文化芸術展示会があるといい

日本有数の美術品を保有している／民間の文化芸術活動が盛んで、多様に展開されている

文化芸術活動や資源の魅力がうまく伝わっていない／文化芸術分野においてデジタル技術を使った魅力発信が欠かせない／他の分野や地域・学校との連携した活動が少ない

文化芸術面の“町田らしさ”をもっと広報してほしい／版画美術館や文学館、生涯学習センターは他市より優れている／子どもが体験できるようなイベントがほしい

子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境が揃っている／文化芸術活動の発表や練習の場の中心を担う市民ホール老朽化／ポップ・カルチャーの郊外拠点となっている

市民の文化芸術活動が活発に行われている／町田エリアで音楽・演劇活動が活発に行われている

文化芸術のシンボルとなり、皆が憧れる多目的ホールがほしい／練習や制作する場がほしい／ダンスや音楽フェスなど、発表の場がたくさんあれば、町田での活動が広がる

他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを所蔵している／貴重な有形文化財や遺跡が数多く残っている／無形民俗文化財の担い手が不足している

伝統芸能を継承するには小・中学生への教育が必要／学校ではやっていないので興味がある

市民が主体的に活動できる土壌が整っている／文化芸術団体の会員の高齢化に加え、会員数が減少している／アーティストの卵が多く住んでいる

市と市民が協働できる仕組みをつくってほしい／多様性を尊重するような風土をつくって活動が活発になるといい

課題

■誰もが気軽にあらゆる文化芸術を楽しめるよう、鑑賞や体験の機会を広げる必要があります。

■町田市の文化芸術の認知度を上げ、最大限に活用していく必要があります。

■町田駅周辺の中心市街地再整備・再開発の方針を踏まえ、文化芸術を鑑賞する場や市民が活動する場を整備する必要があります。

■市が誇る美術品や史跡、重要文化財、民俗芸能等の有形・無形文化財を適切に収集・保存し、次世代に継承していく必要があります。

■文化芸術活動を未来につなぎ、発展させていくため、多様な人や団体を育てていく必要があります。

方向性

①誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる

②町田市の文化芸術のイメージを強化していく

③文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる

④美術品や文化財を保存し、未来に継承していく

⑤文化芸術を支える多様な団体・市民を育成していく